

ライダーの感情を可視化する「感情センシングアプリ」を開発 ～産学共創の技術で、楽しく、安心・安全なバイクライディングを支援～

ヤマハ発動機株式会社は、横浜国立大学 島圭介准教授および株式会社ミルウスとの共同研究により、心電データをもとにヒトの感情を推定し、スマートフォンアプリで可視化する感情推定技術を開発しました。

感情推定技術の共同研究およびアプリケーションの開発は、バイクライフの楽しさの増幅と、安心・安全な運転支援を目的に進めているものです。当社では、この感情推定技術を応用した「感情センシングアプリ」の実証実験を、2023 年後半より開始する予定です。

「感情センシングアプリ」は、身体に装着したベルト型センサーで心電データを計測し、喜びやリラックスした状態、緊張など、ライダーの感情をリアルタイムでスマートフォンに表示するアプリです。その解析データを地図上にプロットすることで、ツーリング先のビューポイントで得た感動や、複雑な交通環境での緊張、またイライラ感や眠気など、ライダーが行動を判断する上で参考となる心身状態を時系列でフィードバックします。

当社は「感動創造企業」を企業目的に、新しいカスタマーエクスペリエンスの提供に取り組んでいます。感情推定技術に関する研究による「感情センシングアプリ」の開発は、その成果の一つとして、感動体験を可視化する技術です。



緊張を示す渋滞道路（左）と、感動を示すツーリングロード（右）の表示例

■横浜国立大学 島研究室(生体医工システム研究室)

<http://www.bmer.ynu.ac.jp/>

■株式会社ミルウス

<https://www.miruws.com/>